

モーツァルト 生涯と作品

晩年のモーツァルト ～光と影のうつろい～

講師 ピアニスト 久元 祐子

名作曲家であると同時に名ピアニストでもあった天才モーツァルト。35年間の人生で紡がれた作品の魅力とは。

楽譜にこめられたモーツァルトのメッセージを丹念によみとき名演を重ねるピアニスト・久元祐子さん。幼年時代から晩年までの生涯と作品をたどり、演奏技法やスタイルの変遷、当時の楽器の特徴にも触れながら、演奏を交えてお話しします。

今回は、「晩年のモーツァルト～光と影のうつろい～」をテーマに、「ロンド K511」、「ピアノ協奏曲 第27番」、「自動オルガンのためのアンダンテ K616」などを取り上げます。

2014年7月開講。今期が最終章です。

©Katsuo Sakayori



<講師紹介>久元祐子 ひさもとゆうこ 東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。フタバ国立交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、国内外のオーケストラや弦楽四重奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。ショパン生誕200周年記念年には、全国各地でプレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルで好評を博し、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾りパーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。2012年、2014年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され称賛された。国立音楽大学准教授、日本フタバ音楽協合理事。これまでにCD10作をリリースし「ハイドンとモーツァルト」「青春のモーツァルト」「ベートーヴェン/アレーゼ」「ワルトシュタイン」(以上、コジマ録音)は新聞や雑誌で絶賛される。著書に「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研)、「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)「原典版で弾きたい! モーツァルトのピアノソナタ」など。毎日21世紀賞特選受賞。久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

日時 2015年 6月6日(土) 13:00~14:30

受講料 会員 3,240円 入会金は5,000円(税別)。70歳以上は入会無料。証明書が必要です。
一般 3,888円

※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

- ※ご入会の振替制度をご利用の方は、お申し出ください。
- ※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。
- ※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。
- ※個人情報、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

新宿

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2-6-1
新富ビル内 12F
tel 03-3344-1945
<http://www.asahiculture.jp/shinjuku>